

1 【活動の趣旨】

わんぱくプラザ老上は、地域の大人たちが知恵を出し合い企画・実施し、子どもたちが様々な人やものに接して学べる機会を創出する活動である。また、参加した子どもたちの保護者にも活動への参加を促し、世代を超えたつながりを広げ深めていく。

2 【特徴的な活動内容】

○1月 「書き初め大会 / 新春のつどい（まち協事業）」
毎年恒例の書き初め大会は、地域の先生のご指導の下、約30名の子どもたちが参加。新年の抱負を力強く筆で表した。午後からの新春のつどいでは、地域の方々と昔ながらの杵と臼での餅つきや、羽根つき、お手玉など、昔あそびに共に興じた。



【お父さんと初めての餅つき】

○8月 「おたのしみデイキャンプ」
熱中症対策のため夕刻から開始し、児童55名と大人のサポーター22名が参加した。夕食はカレーライスを食べ、キャンプファイヤーの周りでRitsBBSさんのゲームやフォークダンスを楽しんだ。メインイベントのきもだめしでは、多くのサポーターが色々な役になりきり、子どもたちの度胸だめしを盛り上げた。最後は花火で締めくくり、暑い夏の思い出のひとつとなった。



【火を囲みマイムマイムを踊る】

○10月 「ハイキングに出かけよう」
JRと京阪電車を乗り継ぎ、児童32名が大津市茶臼山公園へハイキングに出かけた。チームに分かれてウォークラリーをし、スタンプを集めながら公園を一周した。午後からは段ボールで土手滑りをしたり、自由遊びをしたり時間を忘れて楽しんだ。



【茶臼山公園へウォークラリー】

3 【実施に当たっての工夫】

わんぱくプラザ老上では、5月のコロナウイルス感染症の5類感染症移行を受け、徐々に対策を講じながらイベントを再開した。電車での移動では、班の前後に大人のサポーターがつき、降車後に必ず人数確認を行った。また、悪天候により予定より早く帰路に着いたが、サポーターの細やかな配慮で、全員無事に南草津駅に到着した。

4 【事業の成果】

わんぱくプラザ老上では、たて割りの班分けにより学校外での学年を超えた子どもの交流や地域の大人との関わりもできた。今後も地域の大人や団体と関わりを持つ企画に発展させたい。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

事業を安全に行うには十分な大人の目が必要だが、スタッフの数が不足しているのが現状である。団体や、大学等との連携の必要性も視野に、次年度の活動を安全に継続実施していきたい。